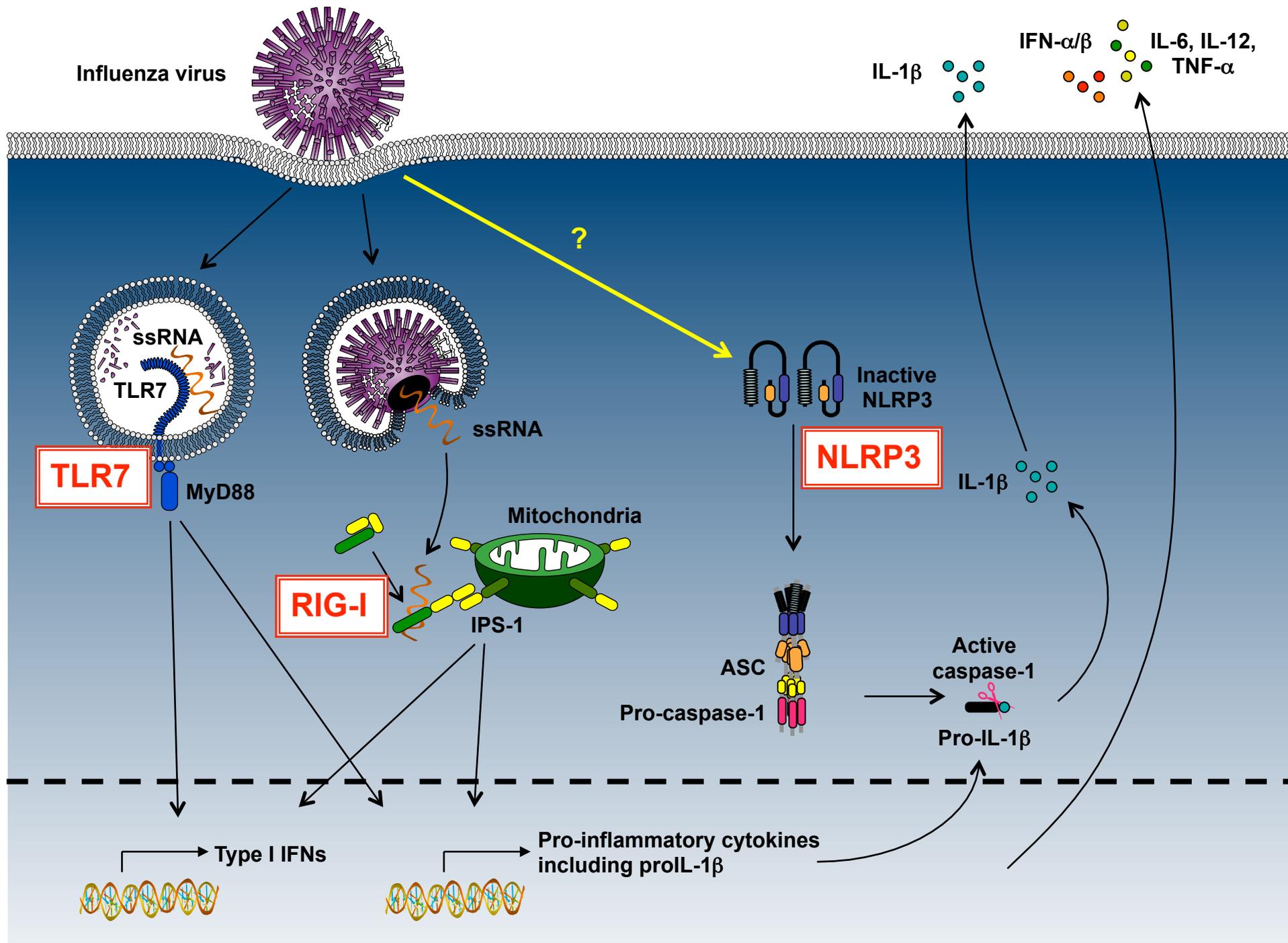


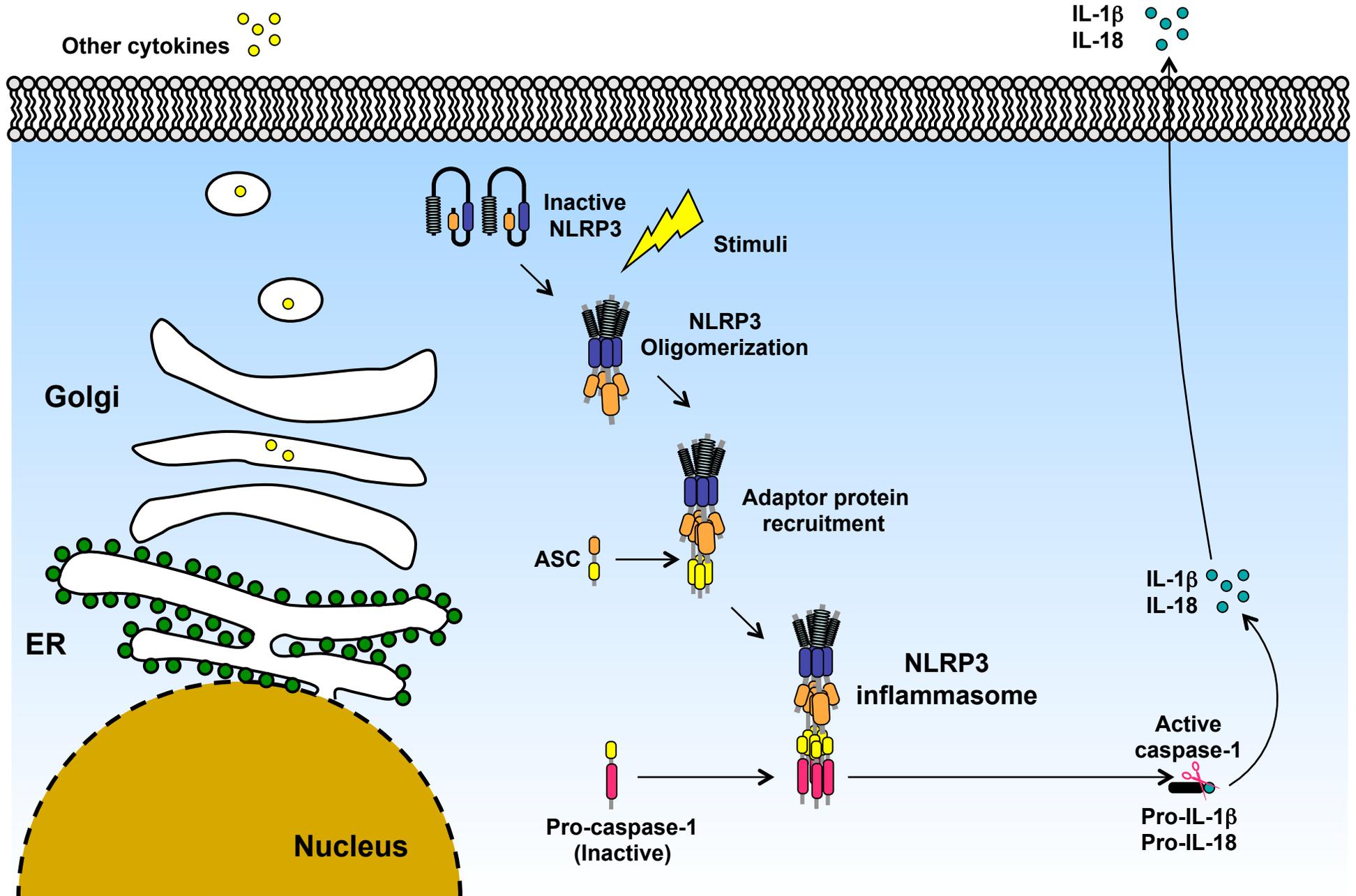
ウイルス感染における インフラマゾームの役割

一戸 猛志

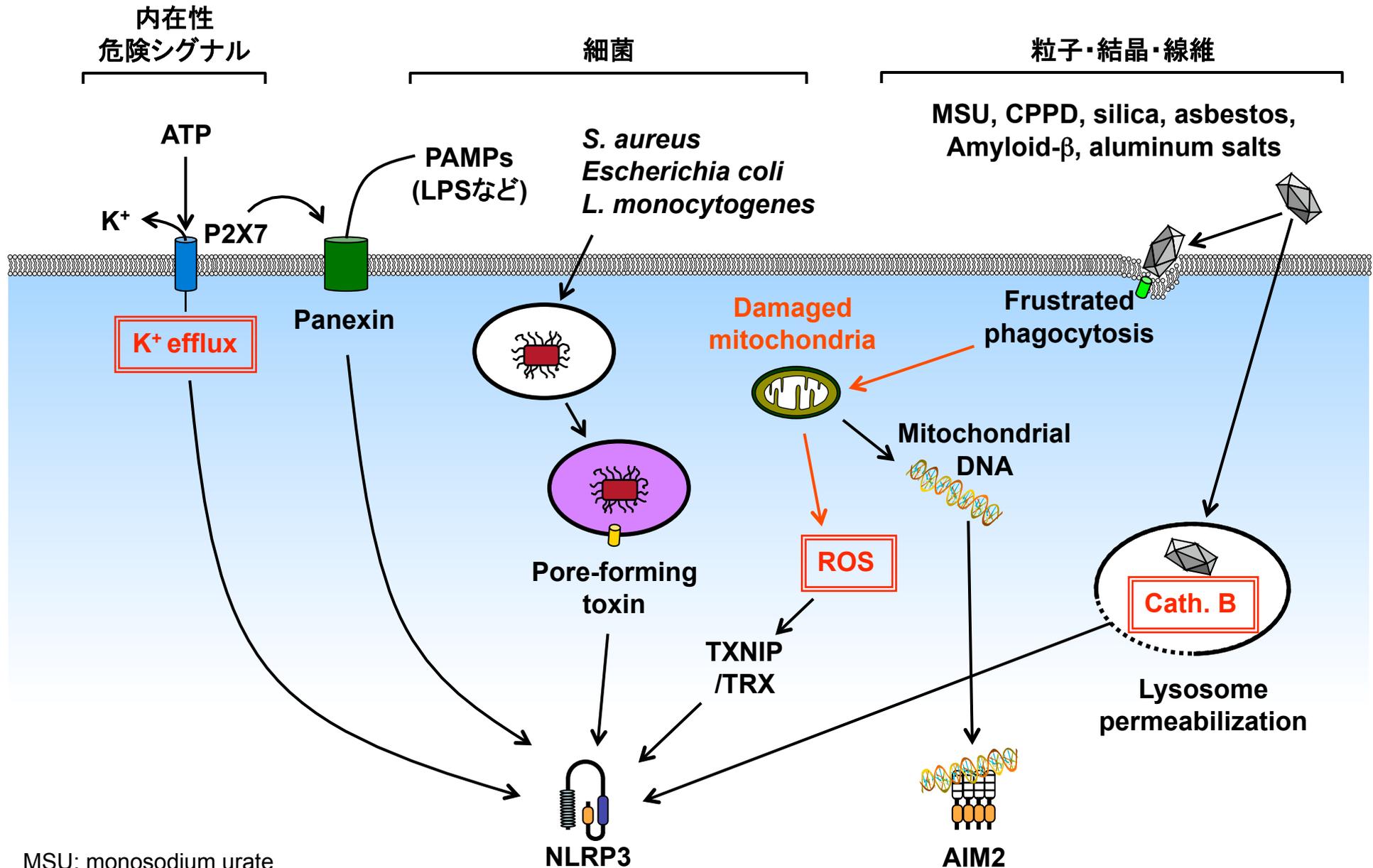
九州大学大学院
医学研究院 ウイルス学



NLRP3 inflammasome and IL-1 β



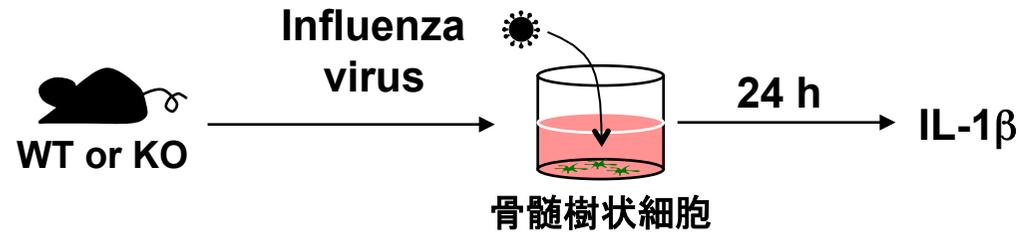
Activators of NLRP3 inflammasome



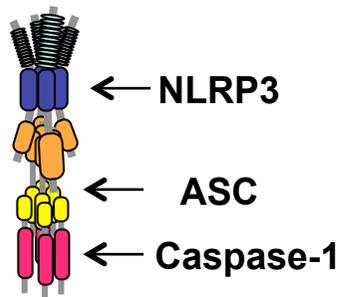
MSU: monosodium urate

CPPD: calcium pyrophosphate dehydrate (ピロリン酸カルシウム結晶)

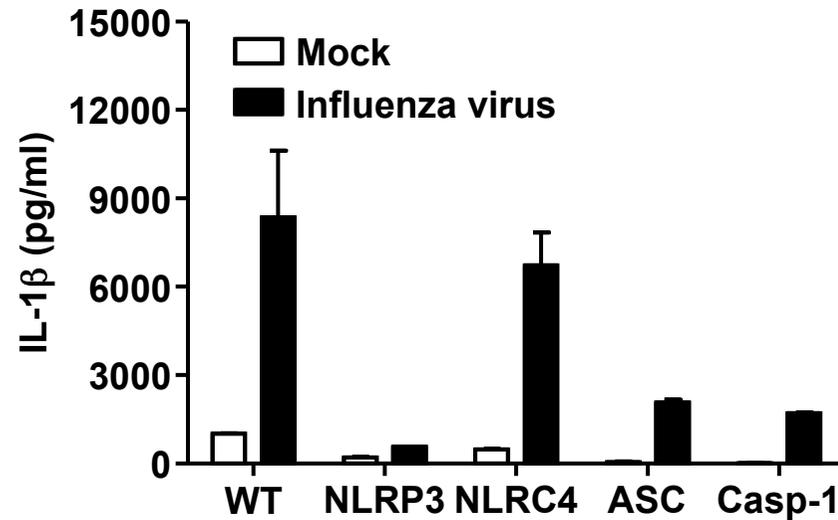
インフルエンザウイルスは NLRP3インフラマゾームを活性化するか？



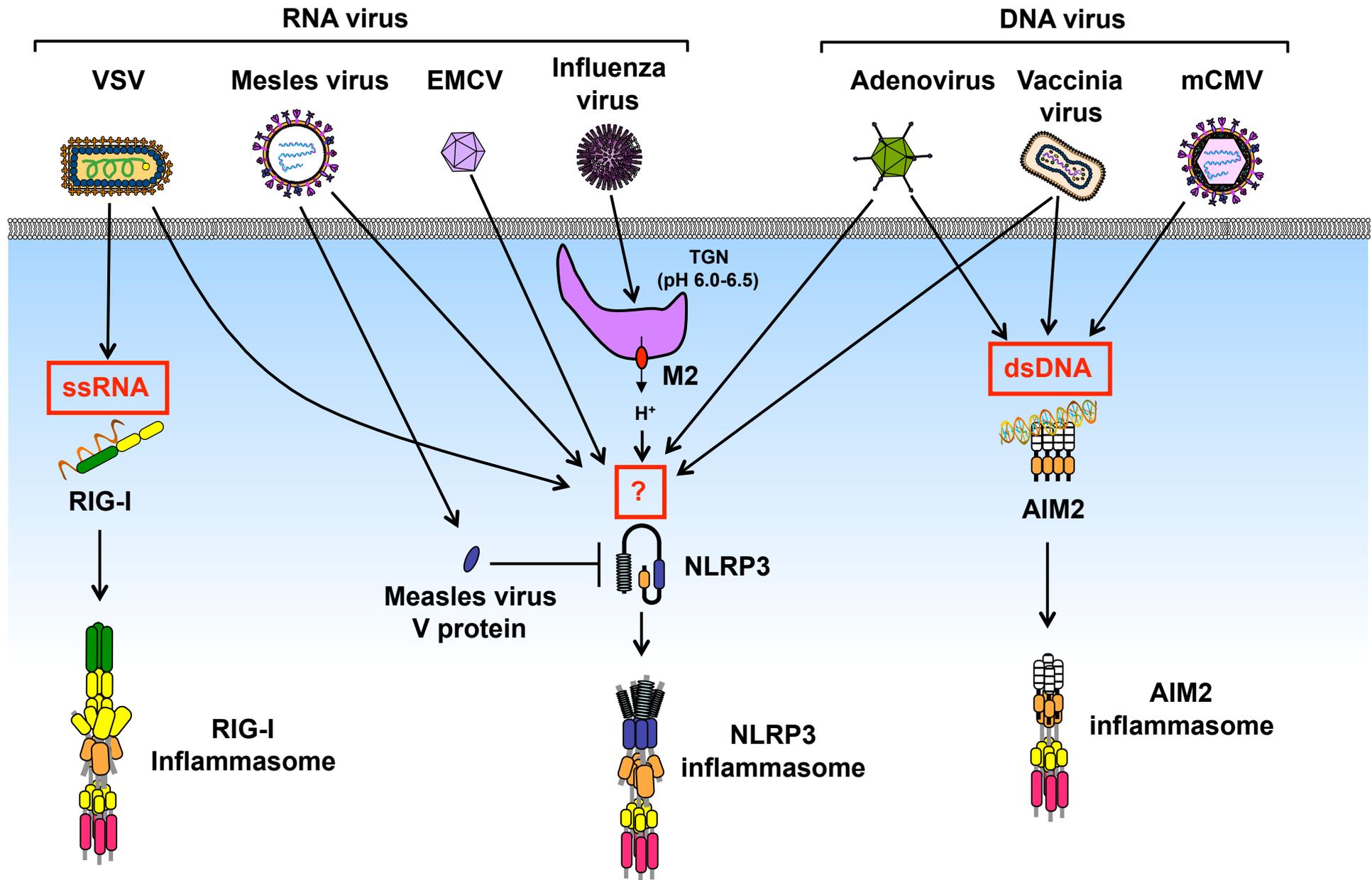
A



B



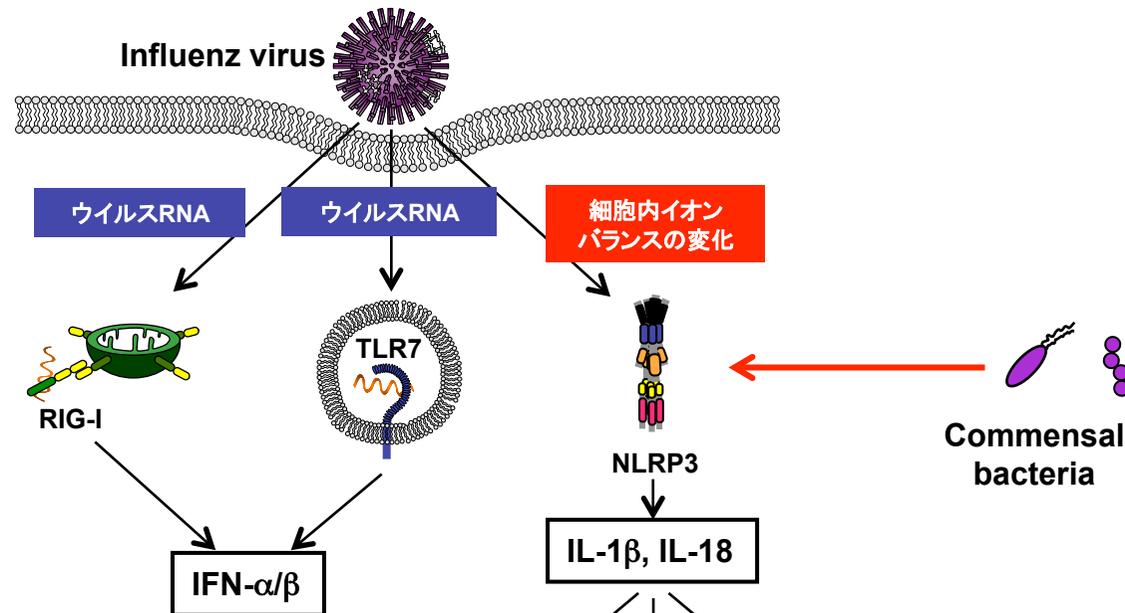
Recognition of viruses by inflammasomes



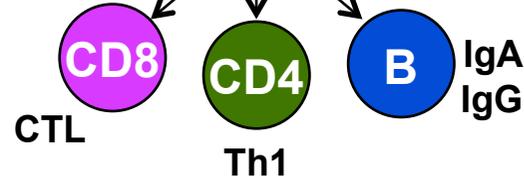
まとめ

1. インフルエンザウイルスRNAは、インフラマゾームを活性化しない
2. インフルエンザウイルスのM2タンパク質は、そのH⁺ channel活性により、ゴルジ体から細胞質へのion fluxを起こしてインフラマゾームを活性化している
3. TLR7やRIG-IがインフルエンザウイルスのRNAを認識しているのに対して、インフラマゾームはウイルス感染による細胞内のイオンバランスの変化を認識している可能性がある

自然免疫



獲得免疫



謝辞

**Yale University School of Medicine
Department of Immunobiology**

**Kyushu University
Yusuke Yanagi
Noritaka Komune
Minako Ito**

Akiko Iwasaki



Iris Pang

